



2022年2月17日

各 位

会 社 名 株式会社 オ オ バ
代表者名 代表取締役社長執行役員 辻本 茂
(コード：9765 東証第1部)
問合せ先 上席執行役員 片山 博文
(TEL. 03-5931-5888)

株主還元方針の変更及び2022年5月期配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月17日開催の取締役会において、下記のとおり、株主還元方針の変更及び2022年5月期配当予想の修正について、決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の変更

(1) 変更理由

当社は、中長期的な企業価値の向上と株主の皆様への利益還元のバランスの最適化を経営の最重要課題の一つと位置づけ、総還元性向50%程度を当面の目途とする株主還元方針を継続してきました。

当社の持続的成長に向けて、営業利益段階では前期（2021年5月期）まで10期連続増益を更新しており、当期（2022年5月期）も業績予想では、営業利益1,400百万円とし、中期経営計画最終年度（2023年5月期）の営業利益（計画）1,400百万円を1年前倒しで達成すべく、邁進しております。

株主還元についても、総還元性向50%程度を目処とし、安定配当と自己株式取得により、着実に実施してきております。

今般、株主還元について、配当をより重視していく方針へ変更いたしました。

(2) 変更内容（下線部は変更箇所）

変更前	株主重視の観点から安定的に配当を行うことを基本方針としたうえで、株主還元拡充の観点から、総還元性向（※）50%程度を当面の目処とし、その時々 ¹ の経済情勢や財務状況、業績見通し等を総合的に勘案し、各期の還元内容を決定する。 なお、自己株式の保有については、発行済株式総数の10%程度を上限とし、それを超過部分は、原則として每期消却する。連結当期純利益の概ね <u>30%</u> を配当原資にする。
変更後	株主重視の観点から安定的に配当を行うことを基本方針としたうえで、株主還元拡充の観点から、総還元性向（※）50%程度を当面の目処とし、その時々 ¹ の経済情勢や財務状況、業績見通し等を総合的に勘案し、各期の還元内容を決定する。 なお、自己株式の保有については、発行済株式総数の10%程度を上限とし、それを超過部分は、原則として每期消却する。連結当期純利益の概ね <u>35%</u> を配当原資にする。

（※）総還元性向（%）＝（配当金額＋自己株式取得金額）÷連結当期純利益×100

(3) 変更時期

2022年5月期より適用いたします。

2. 2022年5月期配当予想の修正

(1) 修正理由

2022年5月期配当予想については、中間配当（実績）を1株当たり8円00銭（普通配当）、期末配当を1株当たり12円00銭（普通配当8円00銭、特別配当4円00銭）の予定でしたが、前記のとおり、株主還元について、配当をより重視していく方針へ変更することから、期末配当を1株当たり15円00銭（普通配当11円00銭、特別配当4円00銭）に修正することといたしました。

(2) 修正内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	合計
2022年5月期予想 (2021年7月8日公表)		12円00銭 (普通配当8円00銭 特別配当4円00銭)	20円00銭 (普通配当16円00銭 特別配当4円00銭)
今回修正予想		15円00銭 (普通配当11円00銭 特別配当4円00銭)	23円00銭 (普通配当19円00銭 特別配当4円00銭)
当期実績	8円00銭		
前期実績 (2021年5月期)	7円00銭	8円00銭	15円00銭

以上